

所 属	健康福祉環境部 児童家庭課		
担当(係)名	母子児童係	内 線	2634

(款)3 民生費 (項)4 児童福祉費 (目)(3) 家庭児童福祉費
(明細書事業名) 児童福祉対策費
児童虐待防止対策事業

1 当初予算(要求)額(千円)

26,263

2 当初予算(決定)額(千円)

25,962

【財源内訳】

国 庫

その他

一般財源

(前年度 20,951)

8,011

107

17,844

3 事業概要

複雑・多様化する児童問題の中で、児童虐待の防止及び早期発見・早期対応するため、子ども相談センター、福祉事務所、児童福祉施設、及び地域住民等が連携を図り、それぞれの機能を総合的に活用し、地域で家庭支援を行う体制の整備を促進する。

4 施策の効果

- ・虐待専門職を設置することにより、虐待に速やかに対応できる。
- ・広報、啓発による虐待予防
- ・被害児童及び虐待を行った保護者へのカウンセリングを行うことにより虐待の世代間連鎖を断ち切る。

5 要求の内容

(1)母親等への啓発事業	1,000	虐待に関わる専門機関用のマニュアルの改正と乳幼児検診時に保護者に直接渡すリーフレットを作成する。
(2)定期連絡会開催事業	1,021	地域協力員等と子ども相談センターとの定期連絡会を開催する。
(3)児童虐待専門職設置事業	19,437	各子ども相談センターに児童虐待に関する調査、関係機関との連絡調整を行う非常勤の専門職員を配置する
(4)児童保護者カウンセリング事業	3,525	虐待をする保護者の中には、かつて自分自身が受けていた心理的外傷を精神科医により治療し、児童との関係を再構築するきっかけ作りとする。
(5)児童虐待防止地域組織促進事業	1,280	市民団体「ぎふCAP」に委託しCAPプログラムの実施。

6 用語の解説

CAPプログラム・・・CAPはChild Assault Prevention(子どもの暴力防止)の略で、わかりやすい人権概念を教え、子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といった暴力に対して何ができるかを子ども、親、教員、地域の人々に教えるプログラム

7 決定内容

(1) 母親等への啓発事業	979千円
(2) 定期連絡会開催事業	1,021千円
(3) 児童虐待専門職設置事業	19,437千円
(4) 児童保護者カウンセリング事業	3,525千円
(5) 児童虐待防止地域組織促進事業	1,000千円